

# 中根小の自然

第 14 号 2008 年 8 月 26 日

うしくみらい エコ フェスタに参加しました。 ~ ヒイラギモクセイについて  
先日(8/24)の「うしくみらいエコフェスタ」のサイエンスブースに、『葉脈標本のしおりやハガキ  
を作ろう!』で出展しました。その紹介をします。



これがヒイラギモクセイ。葉は厚くて硬くて、縁に鋭いギザギザがついていて、気をつけないと手に刺してしまいます。

節分に使うヒイラギは知っていると思いますが、そのヒイラギと、同じモクセイ科のギンモクセイとの雑種と考えられています。花もよく似ていて、独特の甘い香りを出します。中根小の周辺でも、庭に植えていらっしゃるお宅がありますね。

葉脈標本は、葉を水酸化ナトリウムなどのアルカリ溶液で煮て葉肉を分解し、丈夫な葉脈の部分だけを残したのですが、エコフェスタでは、すでに私が煮ておいた葉の葉肉を指で落として標本を作り、それをしおりやハガキにして持ち帰っていただきました。



難度によって1~3レベルの作品をつくっていただきましたが、さすがに小学校高学年くらいになるとレベル3の作品を軽くこなしていました。そのレベル3の作品とは…。

1枚の葉から、表・ウラ2枚の葉脈を取り出すという、ちょっとマジックのような作品です。

葉脈は根から吸い上げた「水を運ぶ管」と、葉でつくった「栄養分を運ぶ管」、そしてそれらを守る繊維から出来ていますが、多くの葉では葉の表側に「水を運ぶ管」、裏側には「栄養分を運ぶ管」が分布していて、両者が必ずセットになっています。だからうまくやると表の脈とウラの脈とに分けることが出来るのです。会場が下根の運動公園でしたので、参加してくれたお友達もいたかもしれませんね。よかったら感想を聞かせてください。また、当日行けなかったけどもやってみた

いという希望がありましたら相談してください。

ところで、「花」が「葉」から進化して出来たという話を聞いたことはありますか？

紙面が終わってしまいましたので、その話は次回にしようと思います。では、残り少ない夏休み、楽しくお過ごしください。

【理科支援員 宮内】